



水道料金は便利な口座振替で

水道料金の収納は、足利銀行壬生支店、宇都宮信用金庫壬生支店および足利銀行おもちゃのまち支店で取っていました。10月1日から栃木相互銀行おもちゃのまち支店でも取扱うことになりました。

水道料金の支払いは納付制と口座振替制のどちらかの方法で納めていただくことになっており集金はしておりません。お客様が支払いに便利な口座振替をおすすめします。

手続きは届出印かん通帳および前月の領収書をご持参の上、金融機関にお申出ください。

預金口座をお持ちでない方は、新たに口座を設けていただくこととなります。

なお、不明な点がありましたら役場水道課までお問い合わせください。電話☎1 2 3 4 内線36番

収納代理金融機関の指定

10月1日から栃木相互銀行おもちゃのまち支店を町の収納代理金融機関として指定します。

これにより町の指定金融機関、収納代理金融機関は次のようになります。

指定金融機関

足利銀行壬生支店

足利銀行おもちゃのまち支店

収納代理金融機関

宇都宮信用金庫壬生支店

栃木相互銀行おもちゃのまち支店

運転免許更新時講習

とき・ところ

10月8日(水) 老人憩の家

10月22日(水) 獨協医科大学

時間は、いずれも午前10時からです。

また、壬生自動車学校における講習会は次のとおりです。(無料)

10月2日(水) 16時～18時

10月5日(日) 10時～12時

10月8日(水) 16時～18時

10月12日(日) 10時～12時

10月15日(水) 16時～18時

10月18日(土) 15時～17時

10月22日(水) 16時～18時

○10月26日(日) 10時～12時

10月29日(水) 16時～18時

○印は原付、自動二輪の講習日です。

オアシス運動で明るい町を

わたくしたちは、つねに「明るく、豊かな、住みよい」町づくりに努めています。この基調となる町の長期振興計画には四つの柱があり、快適な環境と心豊かな人づくりをめざしています。

また、町民憲章には「心のふれあいを大切に…」と語っています。

高度経済成長と恵まれた立地条件等により壬生町は、昭和40年頃から発展を続け、今では人口三万五千人を数えるまでになり、日常生活も都市型に変わりつつあります。

このようなことから、地域社会の広域化と生活圏の拡大などにより、ともすれば住民の連帯感や住民意識が薄

れつつあるように見受けられます。「人間独り立たず」という言葉があるように、人は誰でも何らかの形で、他人の世話にならずには生きてゆくことはできません。

皆さんのご家庭には、すでにオ、ア、シ、スのステッカーが届いていると思いますが、おはよう — ありがとう — しんせつ — すみません — の言葉は、家庭、職場を問わず、日常生活の中で毎日一度は交す身近な言葉です。

これからの毎日を町民一人ひとりが、より和やかに連帯感に支えられたるおいのある地域社会を築くために、栃木県人権擁護委員協議会と壬生町では、この運動を推進しています。



栃の葉国体を成功させよう

10月は「体育振興の月」です

インフルエンザ予防接種

対象者 昭和49年4月2日～昭和52年10月1日までに生まれたお子さん

費 用 無料

持参するもの 母子健康手帳、問診票、尿検査証明書
なお、インフルエンザ予防接種は、第1回接種をしてから1～4週間後に2回を行います。

日 程	と き	と こ ろ
1回目	10月1日	稲葉小学校体育館
2回目	10月16日	
1回目	10月2日	壬生中央公民館
2回目	10月21日	
1回目	10月3日	壬生中央公民館
2回目	10月22日	
1回目	10月6日	南大飼地区公民館
2回目	10月17日	
1回目	10月7日	南大飼地区公民館
2回目	10月20日	

※時間はいずれも午後1時30分から始まります。

個別予防接種は嘱託医でどうぞ

町で実施している集団予防接種を受けられない人のために、町内の医師の協力を得て個別予防接種（有料）を行っています。新たに次の医師にもご協力いただくことになりました。

・東海林正憲医師（安塚626～9 とうかいりん整形外科 電話 ☎3148）

・早川映美医師（壬生甲323 早川医院 電話 ☎0210）

接種日と時間（通年）

年始、祝祭日、休日等を除き毎日午前9時～正午、および午後2時～5時。受付は医院の窓口または電話予約。

個別予防接種の種類

・三種混合 ・日本脳炎 ・インフルエンザ ・麻疹

預託ありがとうございます

善意銀行

○金 7,645円

○陶トミー工業様

○手作りのまり 300個

○橋本ハナ様

秋の狂犬病予防注射と登録

秋の狂犬病予防注射と犬の登録は、次の日程で行います。犬を飼っているご家庭では、よりの会場で必ず受けましょう。

この日程によらないで、訪問注射を受ける場合は、応診料が含まれ料金が高くなります。

・登録料 2,000円

・注射料 1,200円

・予防注射済票交付料 300円

実施日程

と	き	と こ ろ
10月23日 (木)	9時10分～10時20分	壬 生 町 役 場
	10時30分～11時40分	壬 生 中 央 公 民 館
	1時00分～1時40分	中表町(館沼金一郎宅)
	2時00分～2時30分	藤 井 小 学 校
10月24日 (金)	9時30分～10時00分	福和田(安納政男宅)
	10時20分～11時30分	稲 葉 支 所
	1時00分～1時30分	七ツ石(江田ヨネ宅)
	1時50分～2時20分	羽 生 田 小 学 校
10月27日 (月)	9時30分～10時00分	国 谷 公 民 館
	10時20分～10時50分	北 小 林 公 民 館
	11時00分～11時30分	中泉(上田三次宅)
	1時10分～2時20分	南 犬 飼 支 所
10月28日 (火)	9時30分～10時20分	至 宝 町 公 民 館
	10時30分～11時40分	六 美 町 公 民 館
	1時10分～2時10分	玩具団地研修所

魔犬引き取り日

とき・ところ 10月8日(火) 10月22日(木)

役場本庁 午前9時30分まで

南大飼支所 午前9時40分まで

稲葉支所 午前10時10分まで

飼主は予定時間まで引き取り会場でお待ちください。

なお何かの都合で帰られる方は、保健課および各支所へ連絡してください。

育 児 相 談

とき・ところ

10月28日(火) 午前10時～12時 壬生中央公民館

10月29日(水) 午前10時～12時 南大飼地区公民館

内 容 検診を受けなかったお子さんおよび乳幼児の育児について保健婦が相談に応じます。

心 配 ご と 相 談

毎週火曜日に心配ごと相談所を開いています。秘密は固く守ります。お気軽にご相談ください。

10月7日 役場日本問

10月14日 母子健康センター会議室

10月21日 役場日本問

10月28日 南大飼地区公民館

時間は、午前10時～午後3時

交 通 事 故 相 談

とき 月・水・木曜と第1・第3金曜

時間は午前9時～午後4時

ところ 県南県民センター（栃木市神田町6の6 下都賀庁舎内）電話 ☎5 6 6 5

消費生活苦情相談

毎月第1金曜日に相談所を開いています。

品質表示やラベル、レシート、現物などを持参すると効果的です。

とき 10月3日 午前10時～午後3時

ところ 役場 相談室

中小企業金融相談

毎月第1金曜日に金融相談所を開いています。融資などでお困りの方は、ぜひお出掛けください。

とき 10月3日 午前10時～午後3時

ところ 役場 相談室

10月の休日当番医

診療時間は、午前9時～午後4時まで、当番医師の往診はできません。

5日 おもちゃのまち内科クリニック 幸町二丁目

電話86-1517

10日 東海林整形外科 国谷外道

〃 86-3148

12日 陣内 医院 城 内

〃 82-0242

19日 松本 医院 栄 町

〃 82-2002

26日 佐藤 医院 安 塚

〃 86-0123

母 親 学 級

と き 10月16日(木)午後1時30分

と ころ 老人憩の家

該当者 町内居住の妊婦

内 容 第三課 ①妊娠中の精神衛生②母乳栄養の推進
③出産の準備、赤ちゃんの衣類
映画「すばらしい母乳」

三 か 月 児 検 診

と き 10月9日(木)午後1時30分

と ころ 壬生中央公民館

対象児 昭和55年6月11日～7月10日までの出生児

検診内容 斜頸、股関節脱臼検査と保健指導

妊婦検診と血液検査

と き 10月6日(月)午後1時30分

と ころ 母子健康センター

対象者 町内居住の妊婦

合わせて結婚される方の血液検査も行います。

持参するもの 妊婦の方は、母子健康手帳

三種混合予防接種

(破傷風・ジフテリア・百日咳)

とき・ところ

10月30日(火) 壬生中央公民館

10月31日(水) 南大飼地区公民館

受付時間 午後1時30分～2時30分

対象児 昭和53年4月2日から昭和53年9月30日までに生まれたお子さんと48か月までに一期または二期を終了していないお子さん

持参するもの 母子健康手帳、問診票、スリッパ、尿検査証明書（3歳以上）

ポリオ生ワクチン投与

とき・ところ

10月8日(火) 壬生中央公民館

10月9日(水) 南大飼地区公民館

受付時間 午後1時30分～2時30分

対象児 昭和55年1月1日から昭和55年5月31日までに生まれたお子さんと、一度も投与していない48か月までのお子さん

費 用 無料

持参するもの 母子健康手帳、尿検査証明書（3歳以上）

ごそんじですか

電話のじょうずな

かけ方を

—— こんにちは 電話局です ——

- ・番号は記憶にたよらず確めて
- ・お話し中3分待つてかけましよう
- ・呼び出し音10鳴るまで待ちましよう
- ・ダイヤルは途中で休まずそして指止めまで
- ・ダイヤル後の無音10秒位待つてください





昭和55年 国勢調査

10月1日に実施

国づくり 町づくり に貴重な資料

左記日程により国勢調査員がお伺いしますから、調査票の記入についてよろしくお願いします。

調査の日程

9月24日～30日

調査票の配布



各世帯に調査票を配って記入を依頼します

10月1日
(調査期日)



調査票の収集



10月5日まで



国と郷土を考える

国勢調査のはなし 最終回

もうすぐ10月1日—国勢調査の行われる日です。

国勢調査は、日本に住んでいるすべての人を対象に、5年ごとに実施されているもので、今回は十三回目になります。

〔調査項目〕

男女の別、出生の年月、世帯構成、就業状態などほか、現住居への入居時期、通勤、通学先と利用する交通手段など全部で二十二項目

〔調査員〕

調査員は町内会や自治会、PTA、婦人会などの役員や民生委員のみならずが大部分です。半数以上の方は、これまでも調査員として経験を積んだベテランですから、わからない点は気軽に相談ください。



筆記用具は黒鉛筆を ご使用ください

調査員は、9月24日から30日までの間に、みなさんのご家庭を訪問し、調査票をお配りします。ご記入いただいた調査票は、10月1日から5日の間に調査員がお伺いしますから、その時お渡しください。

なお、調査員がお伺いする時期に留守だったり、調査票を直接調査員に提出するのが困るという方は、早めに国勢調査担当係まで連絡ください。

〔調査票〕

ご記入いただいた調査票は国（総理府統計局）に集められ、そのまま光学式マシーク読取装置という機械にかけて集計されます。

この機械は、文字がわくからはみ出していたり、調査票が折れたり、曲がったり、汚れていたりすると、正確に読み取ることができない場合がありますので、十分ご注意ください。

なお、筆記用具は必ず「黒鉛筆」をお使いくださるようお願いいたします。万年筆やボールペンは、たとえ黒でも絶対にご使用にならないように。黒鉛筆以外は、読取装置が作動しません。

総人口34,779人 { 男 17,316人 女 17,463人 } 世帯数 9,486世帯 (9月1日現在)